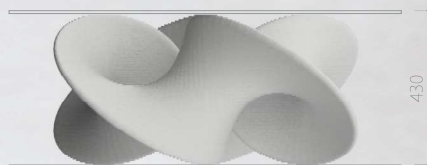


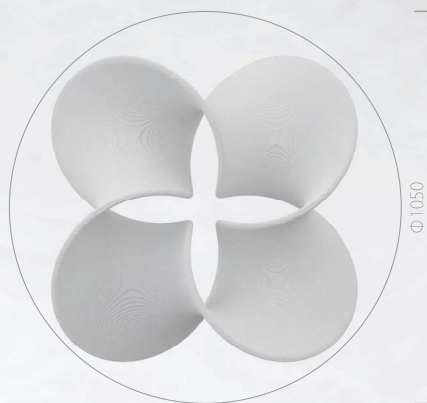
# CAVE TABLE

2016年12月より販売開始したテーブル。「複雑かつ単純であること」を目指した。テーブルは「胡桃の実」のような表と裏が連続した形態で、アンバランスに見えるが捻れながらも重心の対象性を担保し、4点で均等支持している。テーブルは有機形状にカットした薄い合板を、高さ420ミリまで積層造形する事で「人工の年輪」のような視覚効果を生み出します。

製造は「デジタルとアナログの融合」を目指した。あらかじめCAD-CAM上で3Dデータを作成し、CNCルーター用にデータ変換しながら、2440 x 1200のパーティ合板から有効に木取りするためにデータのレイアウトを工夫した。数値制御による切削加工のお陰で、4ミリ毎の積層工程(合計105枚)では高精度を確保できた。最終工程では、板厚分の「段差」が必ず生じるが、職人が鉋を使って全体的に平滑にして行く事で、「職人の感覚+ロボットの正確さ」の共同作業の実験場になった。



立面図S= 1:15



平面図S= 1:15